

《地域医療情報No24》速報 「新型コロナウイルス対策」関連で重要な情報です！

## ☆ 第2次補正予算国会上程の中、加藤厚労大臣記者会見で「地域医療構想」について言及！

- ①感染症対応も取り込み議論していく
- ②現在は先ず、新型コロナウイルス感染症に全力で取り組むことを最優先し、構想の時期等は整理して行く

6月5日加藤厚労大臣は「記者会見」で記者の質問に対する回答として「地域医療構想」に関する見解を明らかにしました。大臣発言により、地域医療構想のスケジュール（「再検証要請」の全国440の公立・公的医療機関の再編合理化計画の具体化＝今年9月までが期限のスケジュール）は当面、「要検討」という判断状況が明らかとなりました。しかし、まだ首相官邸・安倍首相サイドは明確にいません！さらなる運動強化で、スケジュール見直しに留まらず、「白紙撤回」させましょう！

### 加藤大臣会見概要 (令和2年6月5日(金) 10:20～10:33)【広報室】

#### 質疑

**記者：**地域医療構想の件で、昨日の厚労委員会でも議論になっていましたが、440のリストを示しての地域医療構想の改編、それをコロナウイルスの影響を踏まえて、スケジュールをどうするのか、今年の9月までという目標はあったと思いますが、今後のスケジュールは後ろ倒しにするのかどうか、440の病院のリスト自体も白紙にするとか見直すということはあるのでしょうか。

**大臣：**まずなぜ地域医療構想を進めているかということですが、地域における医療ニーズも高齢化が進む中で、あるいは総体としての労働量人口が減少しておりますから、そういった中で医療関係者をはじめ、そういった皆さま方の力、経済学的な言い方をすれば限られた医療資源をどうこれからのその地域の医療ニーズに合った形で作り直していくかということが、これからの地域における、あるいは国全体における国民の皆さまの健康を守り、ひいては安心につながっていくということで、まさにそれに向かって努力をしていく、これは常に不変の取組だと思っております。その中で、そうした地域における議論の一助になればということで、公的公立病院について、5疾患・5事業について、分析をさせていただいたものをお示しさせていただきました。

そのため、5疾患・5事業については公的病院の一つの分析だと思っておりますが、ただこれも一律に、再編や統廃合を進める、そこに書かれているリストのその病院について、統廃合してくれということをお願いしているのではなく、この一つの資料としながら、また更に我々も色々な提供をしていきたいと思っておりますが、地域においてしっかり議論を進めていただきたい、こういう趣旨でありました。そうした中で、今般、新型コロナウイルス感染症がこのような拡大をし、こうした感染症に対する対応も新たな視点として注目をされてきました。

もちろん、これまででも感染症という視点はありましたが、より一層大きな課題であり、国民の皆さまも大変関心を持っているわけでありますから、当然これから地域の医療構想を考えていく時にも、こうした感染症に対する対応をどうしていくのか、当然取り込みながら議論していく必要があると思えます。そういった意味において、今般の感染症対策を通じて得られたそれぞれの知見や地域の経験、そういったことも踏まえながら、各自治体において議論がなされていく、我々も一緒になって連携を図っていきたいと思っております。

それから時期であります。もともと2019年度中とされていた見直し期限についても、現在まずは新型コロナウイルス感染症にそれぞれの地域においても、医療関係者も全力で取り組んでいただいておりますから、当然それを最優先していただくということであります。そうした状況も見据えながら、時期あるいは進め方についても改めていろいろなご意見を聞きながら、整理をしていきたいと思っております。